

1 はじめに

日本列島の塩作りの歴史は、一般的には海水による製塩から始まり、その技法上からみると、^{てんび}天日製塩、^{じきに}直煮製塩（素水製塩ともいう）、^{もしおやき}藻塩焼製塩、^{あげはま}揚浜式塩田製塩、入浜式塩田製塩、^{りゅう}流下式塩田（枝条架併設）製塩、イオン交換法と、だいたい7段階を経て発展してきたといわれている（注1）。

青森県における塩作りに関する考古学的研究は、昭和40（1965）年代から始まり（注2）、今日、青森県内では縄文時代後期末葉から晩期及び10世紀を中心とする平安時代の製塩は、土器を使用した時代、土器製塩の時代と位置付けられている（注3）。

土器製塩は^{じきに}直煮製塩（素水製塩）に分類され、濃い塩水を作る^{さいかん}採鹹作業は特に必要としない。汲み上げた海水を直接製塩土器に入れて薪（^{しおき}塩木）を焚き、海水を煮詰めて結晶塩を作る方法である。本県の土器製塩は、遅くとも平安末ころには終焉を迎えたものとみられ、その後は土釜（窯）を使用した塩作りが開始されたものと看做されている（注4）。塩業発達史的にみても中・近世の製塩は大きな画期であり、また、中・近世の製塩用釜（窯）は、鉄釜に移行するまで焼貝殻と粘土などを原料にして造られた原始的な土釜であったことは文献史料にも残されている。そして海水から塩を作る仕事は明治時代末葉まで続けられていた資料がある。そこで製塩に使用された塩釜などに焦点を当て、それらを埋蔵文化財の調査研究の対象に据えることも一興であろう。

（注1） 亀井千歩子 1979『塩の民俗学』68、69頁

（注2） 拙稿 1969「青森県夏泊半島の製塩土器」月刊考古学ジャーナル38

（注3） 近藤義郎編 1978・1984・1994『日本塩業大系 史料編 考古』『土器製塩の研究』『日本土器製塩研究』

（注4） 拙稿 1972【研究ノート】「青森県陸奥湾沿岸の製塩土器（予報）付記 青森市大浦遺跡調査略報」考古学研究 18巻4号、79～89、102頁

2 塩釜調査に至る経過

塩水を作る^{さいかん}採鹹作業を必要としないこの^{じきに}直煮製塩釜を使用するにあたっての立地条件は、塩田に適する砂浜がなくとも、海水の塩分濃度が高く、しかも海水の汲み上げが容易な海岸で、薪（塩木）が豊富にあるかあるいは薪の運搬が便利な所であればどこでも適地であった。そのような立地条件を備えた東北地方ではおそらく近世以前からその全海岸地帯、佐渡一帯、島根県の隠岐、三重県の南勢町・南島町^{はつかま}の八竈、西南諸島、伊豆諸島などで行われ、青森県では青森市野内と八戸市鮫・金浜、階上町道仏、岩手県では陸中海岸一帯（九戸郡、下閉伊郡、上閉伊郡、気仙郡）では明治末期までもつづけられていたことが日本専売公社の調査記録などによって立証されている（注5）。ところが、本県において、土器製塩時代以降の塩釜を使用した製塩に関する考古学的調査報告書は、極めて少ないのが現状である。管見の限り、2冊だけのようである。1冊目は『大浦遺跡調査報告書』（注6）、2冊目は夏泊半島に所在する、（平内町）『白砂・大沢遺跡発掘調査報告書』（注7）である。幸い両遺跡には筆者も調査に参加させて頂いたが、とりわけ青森市大浦

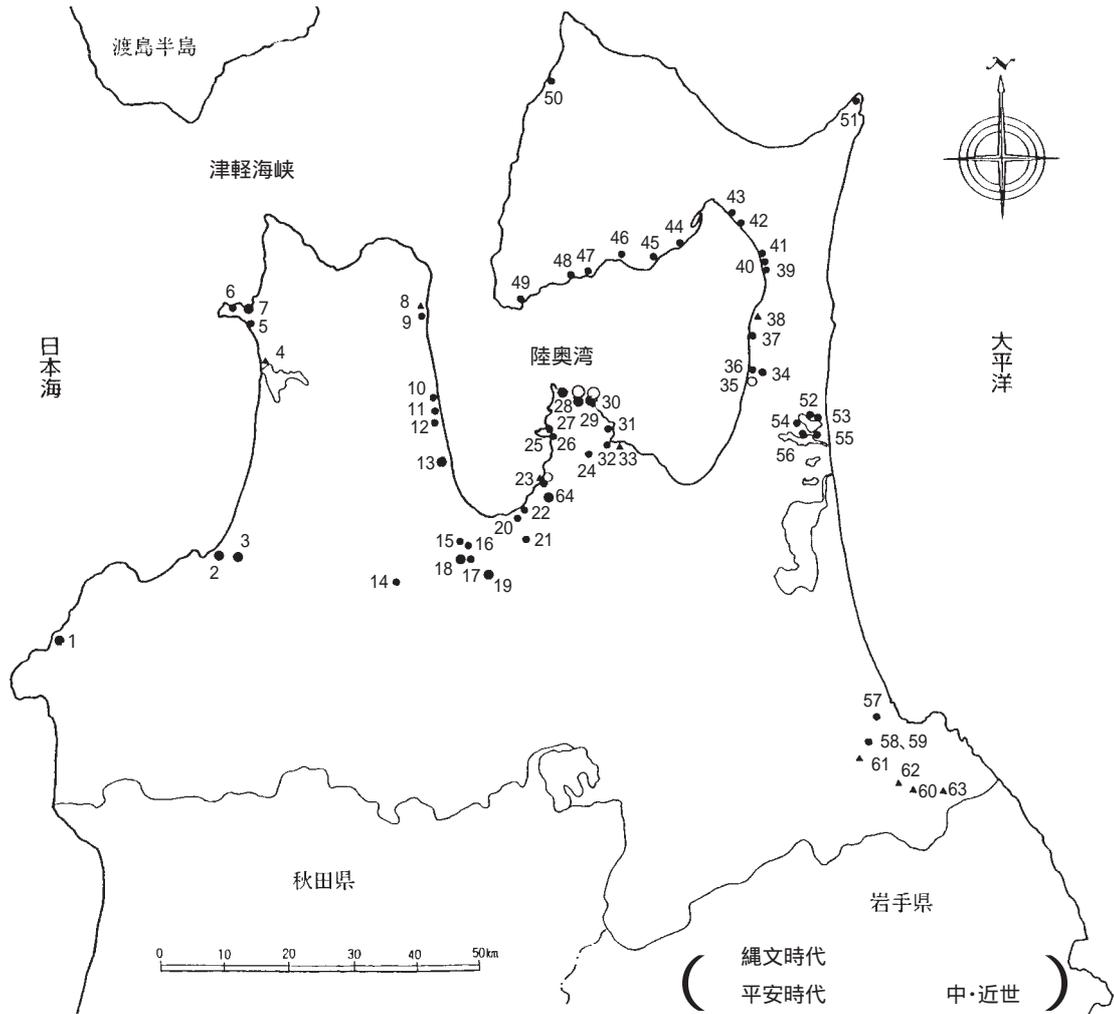


図1 青森県的主要製塩土器出土遺跡分布図

No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名	No.	遺跡名
1	尾上山	2	今須(3)	3	外馬屋前田(1)	4	五月女菴 <small>やち</small>	5	折戸
6	阿曾内	7	坊主沢	8	今津(1)	9	尻高(5)	10	宮本(2)郷沢
11	蓬田大館	12	蓬田小館	13	内真部(9)	14	山元(3)	15	三内
16	近野	17	朝日山(1)	18	朝日山(2)	19	新町野	20	沢田
21	沢山(2)	22	浜野*	23	大浦	24	竹達*	25	茂浦*
26	馬屋尻*	27	釜場*	28	横峰貝塚	29	大沢	30	白砂
31	間木*	32	雷電際	33	槻ノ木	34	林ノ脇	35	吹越
36	と百目 <small>め</small> 木 <small>き</small>	37	陸奥横浜	38	桧木	39	浜中野沢	40	近川
41	浜奥内	42	赤川	43	松原	44	下田	45	八角 <small>すみ</small> 館 <small>だて</small>
46	こま <small>まい</small> ノ木平(1)	47	上野平	48	長浜*	49	瀬野製塩	50	原田
51	大平(4)	52	上尾駁(2)	53	家ノ前(1)	54	沖附(1)	55	表館(1)
56	発茶沢(1)	57	見立山(2)	58	根城跡東構	59	根城3丁目	60	松館
61	八幡	62	風張(1)	63	滝端	64	宮田館	65	